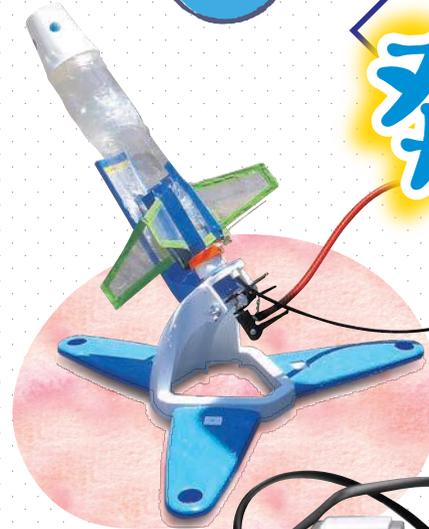


幸田町

少年少女 発明クラブ

10th Anniversary



発刊にあたって



幸田町少年少女発明クラブ
会長 神取 勇

幸田町少年少女発明クラブは、令和4年9月に創立10年を迎えることができました。平成24年の創立以来、地域の皆様の熱意に支えられ「ものづくり」を通して科学的な興味、関心を追求する場を提供し、自由な環境の中で創造活動を行い、技術や技能の素晴らしさを実感しながら作品を完成する喜びを体得し、発明、創作、工夫の精神に基づく生活態度を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ることを目的として、活動を続けてきました。ここに10周年を迎えることができましたのは、発足以来、変わらぬご支援とご協力を賜った関係団体の皆様、歴代の役員の皆様及び指導員の皆様ののおかげでございます。また、保護者の皆様には、当クラブの活動の目的をご理解いただき、大切なお子様をお預けいただきまして、大変感謝しております。当クラブは、幸田町中央公民館と愛知工科大学を拠点にした月一回程度の講座の他、全国少年少女チャレンジ創造コンテスト等にも積極的に参加し、優秀な成績を収めております。今後も、幸田町における「ものづくり」の基礎的教育の一助となるよう活動してまいります。最後に、幸田町少年少女発明クラブが、これからも創造性豊かな子ども達を育成するため、皆様の一層のご支援をお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。



幸田町長
成瀬 敦

幸田町少年少女発明クラブ設立10周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことを心からお祝い申し上げます。

会長の神取様はじめ、指導員の皆様など関係各位におかれましては、日ごろから幸田町の子ども達にかけがえのない経験を提供するため、ご尽力いただいております。厚く御礼を申し上げます。

幸田町は、デンソーやソニーを始めとする多くの企業が集まっている「ものづくり」の盛んな町ですが、「ものづくり」には、ものを作る「人」が必要であり、「ものづくり」と「人づくり」は切り離せない関係にあると思います。創造力豊かな人材が育ってこそ「ものづくり」ですから、貴クラブの活動を通し、「ものづくり」の楽しさを体験することをきっかけとし、これからも将来の幸田町を担う人材になってくれることを大いに期待しています。

結びに、幸田町少年少女発明クラブの益々のご発展と、関係各位のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



一般社団法人 愛知県発明協会
会長 深谷 紘一

幸田町少年少女発明クラブが創立10周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

平成24年の発足以来、今日までに約200名以上の青少年の育成に努められたことは、ひとえに神取会長はじめ、役員、指導員の皆様の熱意とご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

幸田町は、自動車産業をはじめとする製造業が盛んな地域性を生かし、積極的な企業誘致に努められるなど、地域の将来に向けた取り組みを精力的に進めておられます。

一方で、わが国を取り巻く産業構造が大きく転換する中、地域を支えるものづくり産業が競争力を保ち、持続的に発展していくためには、イノベーションの実現や知的財産を活かした経営が不可欠であると指摘されております。

そのために必要となるのがこれらを担う人材であり、人材育成の基盤となる少年少女発明クラブの活動は、極めて重要で意義深いものであります。

様々な成果を得たこれまでの10年を伸ばし、次の10年に向けて貴クラブの活動が益々充実・発展されますことを、心よりご期待申し上げます。



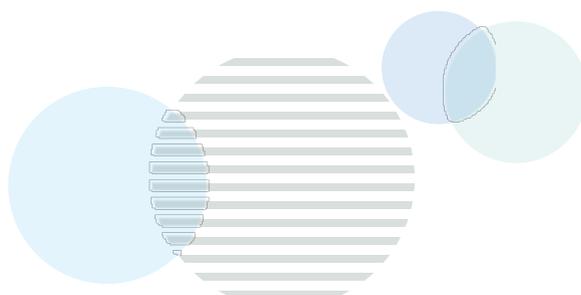
愛知工科大学
学長 大西 正敏

幸田町少年少女発明クラブが設立10周年を迎え、このような素晴らしい記念誌が発行されることを心よりお慶びを申し上げます。

貴クラブ設立時には指導員としても務めたこともあり、多くの児童と保護者に接する機会がありましたが、現在に至るまで毎回の講座が、大変好評であったことは何より嬉しく思います。それぞれの指導員の方々が種々工夫を凝らし、参加者に興味を持って創造教育が実るようにと、多様な独自教材を準備されて来ましたことに感謝申し上げます。さらに、卒業されたクラブ員の方々の大きく成長した姿を目にするたびに、指導員の感激と喜びはひとしおではないかと察します。

また、幸田町関係者の皆様のおかげで「幸田町と愛知工科大学との連携と協力に関する協定書」も締結できたことは本学にとりまして大変ありがたいことでありました。

今後、近隣をはじめとする全国の少年少女発明クラブとも親交を深めて頂き、益々のご発展を祈念いたします。



設立経緯・目的

設立経緯

ものづくりが盛んな愛知県において次々に発明クラブが設立されていく中、幸田町においても発明クラブ開設の機運が高まっていました。そして、平成24年から開設に向けて本格的に動き出していくこととなりました。

4月には愛知工科大学と「幸田町と愛知工科大学との連携と協力に関する協定書」により協定を締結し、会場の提供や指導員のご協力をお願いしました。愛知工科大学には、開設時から現在に至るまで様々なご協力をいただいております。5月には刈谷少年少女発明クラブや蒲郡少年少女発明クラブの視察を、6月には町内企業へ向けて指導員募集を行いました。

内容検討会を2回開催した後、企画運営委員会を開催しました。開設の承認願を8月28日に提出し、9月10日に承認されました。そして、10月21日に発足式と第1回講座を開催し、県内で23番目の発明クラブとしてスタートしました。



目的

幸田町少年少女発明クラブは、幸田町の次代を担う児童に科学技術に関する興味、関心を追求する場を提供し、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を通して発明工夫の楽しさと創作する喜びを体得させ、創造性豊かな人間形成を図ることを目的とします。

工作等を通じて児童、生徒の持つ創造性を発揮するため、科学的な見方や考え方を育成し、その他、目的の達成に必要な事業を行います。

発足時の体制 (平成24年当時)

企画運営委員会

委員長	山本 雄幸 (幸田町商工会長)
副委員長	杉浦 護 (幸田町総務部長)
委員	尾崎 勝 (専任指導員)
委員	梅田 英人 (一般社団法人 愛知県発明協会 事務局長)
委員	志賀 幸弘 (幸田町総務部企業立地課長)
顧問	大須賀一誠 (幸田町長)
相談役	桑門 聡

指導員

専任指導員	尾崎 勝
指導員	小島 昌博、今井 幹人、加藤 優、那須 連作 杉山 範男、松下 和男、村上 新、山本 照美 徳田 正孝、大竹 才人、田宮 直、中谷 一郎 大西 正敏、畑中 義式、相木 国男、吉田 茂 宇野新太郎、橋本 孝明

発足時にご尽力 いただいた方



一般社団法人
愛知県発明協会 会長
故 石丸 典生 氏



幸田町少年少女
発明クラブ 相談役
故 桑門 聡 氏

開設年月日

平成24年9月10日

対象

町内在住の小学校4年生から6年生

主催

幸田町、一般社団法人 愛知県発明協会、公益社団法人 発明協会

活動場所

幸田町中央公民館 (愛知県額田郡幸田町大字菱池字黒方78)
愛知工科大学 (愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2)

●幸田町中央公民館



●愛知工科大学



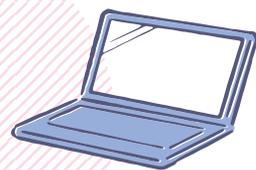
2012年度

平成24年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	14	8	5	27	19
女	3	0	2	5	
計	17	8	7	32	

第1回	幸田町中央公民館	身近な材料で飛ぶものを作ろう
第2回	幸田町中央公民館	創造力・発想力をいかして問題に取り組もう
第3回	幸田町中央公民館	バランスストンボを作ろう
第4回	幸田町中央公民館	流体万華鏡を作ろう
第5回	幸田町中央公民館	ばねを使ってマイクを作ろう
第6回	幸田町中央公民館	レゴロボットを動かそう



2013年度

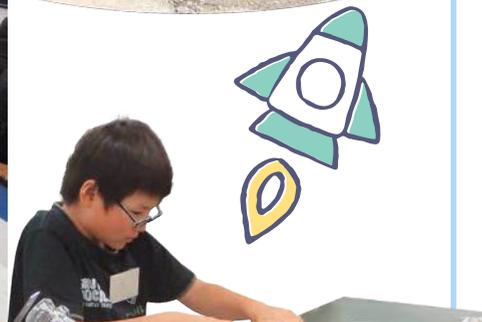
平成25年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	6	18	12	36	20
女	5	4	3	12	
計	11	22	15	48	



第1回	幸田町中央公民館	エコカーを作ろう
第2回	愛知工科大学	宇宙とロボットについて学ぼう
特別企画	自然科学研究機構	自然科学研究機構を見学しよう
第3回	幸田町中央公民館	増殖サイコロを作り、組み合わせて遊ぼう
第4回	幸田町中央公民館	ポップアップカードを作ろう
第5回	幸田町中央公民館	変わったモータを作ろう
第6回	愛知工科大学	コンピュータでオルゴールを作ろう
第7回	幸田町中央公民館	さおばかりを作って重さをはかろう
第8回	幸田町中央公民館	ラット トラップ ゲーム
第9回	幸田町中央公民館	レゴロボットを動かそう



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

来年幸田町合併60周年彦左衛門大喜び



チームMKN

前沢 悠太 (豊坂小学校5年生)

近藤 智倫 (豊坂小学校5年生)

成瀬 あかね (豊坂小学校5年生)

地区大会 優勝

全国大会 日本弁理士会会長賞 (銀賞)



2014年度

平成26年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	11	7	17	35	20
女	2	7	4	13	
計	13	14	21	48	

第1回	幸田町中央公民館	サル・リスなぜ登る?
第2回	愛知工科大学	不思議なペーパークラフトを作ろう!
第3回	愛知工科大学	マジックフライヤー 弾性エネルギーを使った玩具を作ろう!
第4回	幸田町中央公民館	組木細工を作ろう!
第5回	愛知工科大学	レゴロボットを動かそう I (連続講座)
第6回	愛知工科大学	レゴロボットを動かそう II (連続講座)
第7回	トヨタ産業技術記念館	あいち少年少女創意くふう展見学
第8回	愛知工科大学	オルゴールゴマを作ろう!!
第9回	愛知工科大学	カチカチ振り子を作ろう
第10回	愛知工科大学	LED発電で、電卓を動かそう ～高輝度LEDを使って～



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

幸田町の過去・今・そして未来へ
～えこたんと一緒に飛び出そう～



チームMKN

前沢 悠太 (豊坂小学校6年生)
近藤 智倫 (豊坂小学校6年生)
成瀬 あかね (豊坂小学校6年生)

地区大会 優勝
全国大会 発明協会会長賞 (銀賞)

幸田のお祭り、文化、特産物、豊かなみどり



トリプルスター☆☆☆

近藤 直輝 (豊坂小学校5年生)
北澤 雪斗 (豊坂小学校5年生)
平野 里香 (幸田小学校5年生)

地区大会 第3位



2015年度

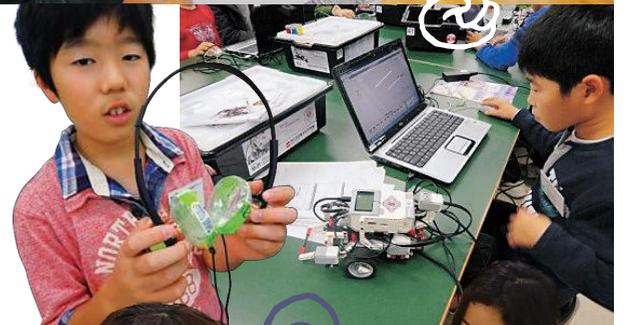
平成27年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	7	15	10	32	22
女	7	3	6	16	
計	14	18	16	48	



第1回	幸田町中央公民館	親子でチャレンジ
第2回	幸田町中央公民館	歯車を考えよう ～カッターナイフの使い方～
第3回	愛知工科大学	手作りヘッドフォン
第4回	愛知工科大学	パタパタカードを作ろう
第5回	幸田町中央公民館	カタカタキツツキを作ろう
第6回	愛知工科大学	シンドマンを作ろう(電子工作)
第7回	トヨタ産業技術記念館	あいち少年少女創意くふう展見学
第8回	愛知工科大学	親子でレゴロボットを作ろう ～組み立てから動作プログラミング～
第9回	幸田町中央公民館	あやつり“くねくね”を作り動かそう
第10回	愛知工科大学	ラジオを作ろう



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

自然と工業が調和する未来の幸田町



トリプルスター☆☆☆

近藤 直輝 (豊坂小学校6年生)
平野 里香 (幸田小学校6年生)
北澤 雪斗 (豊坂小学校6年生)

地区大会 準優勝

全国大会 日本弁理士会
会長賞(銀賞)

元気で明るい幸田町 ～大風に夢をのせて～



☆スター☆

荒島 拓仁 (幸田小学校5年生)
大崎 奏 (幸田小学校5年生)
中村 颯太 (幸田小学校5年生)

地区大会 第4位

2016年度

平成28年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	10	9	15	34	21
女	3	8	3	14	
計	13	17	18	48	

第1回	愛知工科大学	カッターナイフを使う
第2回	愛知工科大学	飛行機を飛ばそう～飛行機が飛ぶ仕組み～
第3回	愛知工科大学	親子でレゴロボットを作ろう ～組み立て・プログラミング～
第4回	愛知工科大学	いろいろな光のスペクトルを観察してみよう
第5回	愛知工科大学	永久コマを作ろう
第6回	幸田町中央公民館	ロケット発射!!
第7回	トヨタ産業技術記念館	あいち少年少女創意くふう展見学
第8回	幸田町中央公民館	連凧を作ろう
第9回	菱池地内	こうた凧揚げまつり
第10回	愛知工科大学	イライラ棒を作ろう(電子工作)



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

GAKU楽～技術を楽しむ・幸田町の
食を楽しむ・音を楽しむ～ 伝統 自然 未来

未来の幸田町



☆幸TAKOSN☆

荒島 拓仁 (幸田小学校6年生)
中村 颯太 (幸田小学校6年生)
大崎 奏 (幸田小学校6年生)

地区大会 優勝
全国大会 予選敗退

A・Y・T・K

芳村 紘矢 (荻谷小学校6年生)
高品 貴仁 (荻谷小学校6年生)
安東 遼樹 (荻谷小学校6年生)

地区大会 準優勝

KH3

山本 成翔 (豊坂小学校6年生)
松尾 美紅 (豊坂小学校6年生)
玉木 暖陽 (豊坂小学校6年生)

地区大会 4位



2017年度

平成29年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	14	13	9	36	22
女	4	4	4	12	
計	18	17	13	48	

第1回	幸田町中央公民館	カッターナイフを使う
第2回	幸田町中央公民館	親子で課題に挑戦!
第3回	名古屋国際展示場	世界青少年発明工夫展見学
第4回	愛知工科大学	走馬燈を作ってみよう
第5回	幸田町中央公民館	卵落下実験
第6回	愛知工科大学	風にゆらめくモビールを作ろう!
第7回	幸田町中央公民館	変わったモータを作ろう
第8回	愛知工科大学	ぴかぴかLEDでクリスマスツリーを作ろう
第9回	幸田町中央公民館	たためる立体(MOVE FORM)を作ろう
第10回	愛知工科大学	オルゴールゴマを作ろう



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

東京オリンピック 2020



花火

杉浦 茂奈 (中央小学校5年生)
市村 日和 (中央小学校5年生)
北澤 あすか (豊坂小学校5年生)

地区大会 優勝
全国大会 発明協会会長賞
(銀賞)

幸田町といえば…



星河竜

渡邊 大雅 (深溝小学校4年生)
村田 泰誠 (深溝小学校4年生)
川瀬 惺龍 (深溝小学校4年生)

地区大会 3位
全国大会 予選敗退

世界をみんなで守って いこう~みんな仲良く~



幸小ビクトリー

田中 諒 (幸田小学校6年生)
山口 和真 (幸田小学校6年生)
吉本 廉 (幸田小学校4年生)

地区大会 5位



2018年度

平成30年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	13	11	13	37	21
女	4	3	4	11	
計	17	14	17	48	

第1回	愛知工科大学	親子で考えよう。発想・創造
第2回	幸田町中央公民館	ポップアップクラフトを作ろう
第3回	愛知工科大学	坂道をトコトコ歩く「トコトコ馬」を作ろう
第4回	幸田町中央公民館	輪ゴムのスーパーカーを作ろう (かんばこうじのおもしろ工作)
第5回	幸田町中央公民館	やじろペーが飛んだ!
第6回	愛知工科大学	ラジオを作ろう ~電波のはなし~
第7回	トヨタ産業技術記念館	あいち少年少女創意くふう展見学
第8回	愛知工科大学	レゴロボット
第9回	幸田町中央公民館	高性能な紙コプターの開発
第10回	愛知工科大学	シンドマンを作ろう(電子工作)

全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

オオムラサキの成長過程



星河

渡邊 大雅
(深溝小学校5年生)

村田 泰誠
(深溝小学校5年生)

地区大会 優勝

全国大会 決勝進出



全日本学生児童発明くふう展

えんぴつころりんけずり



入選 市村 日和 (中央小学校6年生)



2019年度

令和元年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	8	15	13	36	21
女	3	4	5	12	
計	11	19	18	48	

第1回	幸田町中央公民館	親子でチャレンジ(親子講座)
第2回	幸田町中央公民館	トントン相撲を作ろう
第3回	愛知工科大学	イライラ棒を作ろう
第4回	愛知工科大学	パタパタカードを作ろう
第5回	幸田町中央公民館	ばねを使ってマイクを作ろう!
第6回	幸田町中央公民館	パソコン組み立て講座 ～コンピュータの仕組み～(親子講座)
第7回	トヨタ産業技術記念館	あいち少年少女創意くふう展見学
第8回	愛知工科大学	ボイスメモ
第9回	愛知工科大学	紙トンボを作ろう
第10回	愛知工科大学	無限ループを作る



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 自然×技術=“夢の未来”



ウリ坊ズ

水谷 花 (深溝小学校6年生)
松岡 英奈 (深溝小学校6年生)
清澤 慧大 (深溝小学校6年生)

地区大会 優勝
全国大会 発明協会会長賞
(銀賞)

全日本学生児童発明くふう展 パカッとふくろオープナー



入選 市村 友輝 (中央小学校5年生)



2020年度

令和2年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	10	11	15	36	24
女	4	4	4	12	
計	14	15	19	48	

第1回	幸田町中央公民館	不思議なペーパークラフトを作ろう!
第2回	幸田町中央公民館	いろいろな光のスペクトルを観察してみよう
第3回	幸田町中央公民館	パズルを作ろう
第4回	幸田町中央公民館	オルゴールゴマを作ろう
第5回	幸田町中央公民館	暗くなったら自動で光るソーラーランタンを作ろう ～電子部品の種類と役割～
第6回	幸田町中央公民館	スーパーカーを組み立て走らせる
第7回	(自宅学習)	永久コマを作ろう
第8回	(自宅学習)	電子ルーレットを作ろう ～デジタル回路の基礎～



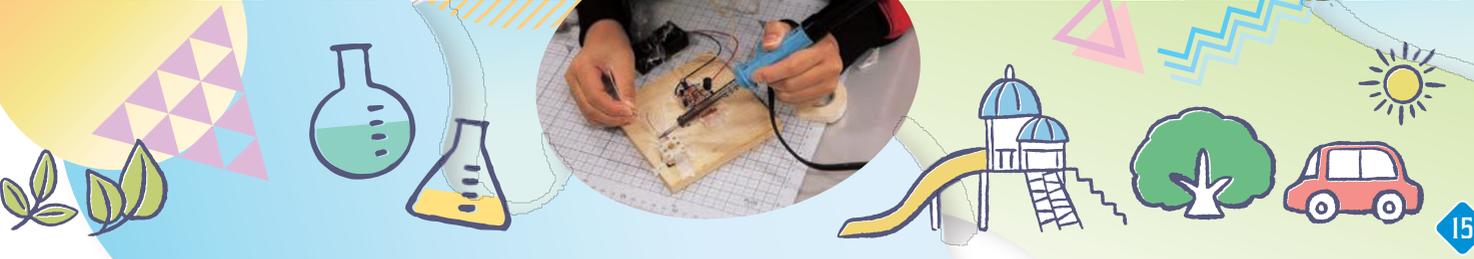
2021年度

令和3年度



	4年生	5年生	6年生	計	指導員
男	11	10	15	36	22
女	5	4	3	12	
計	16	14	18	48	

第1回	(中止)	工夫・加工・発想
第2回	幸田町中央公民館	パズルを作ろう
第3回	幸田町中央公民館	たためる立体(MOVE FORM)を作ろう
第4回	(中止)	SINDOMANを作ろう
第5回	幸田町中央公民館	カタカタキツツキを作ろう
第6回	幸田町中央公民館	走馬燈を作ってみよう!
第7回	幸田町中央公民館	ラジオを作ろう ~電波のはなし~
第8回	幸田町中央公民館	電子オルゴール ~素敵なオルゴールボックスを作ろう~
第9回	(中止)	電気教室



指導員からの メッセージ Message

専任指導員 尾崎 勝



幸田町少年少女発明クラブ開講10周年記念おめでとうございます。

以前勤務していた、愛知工科大学を通して、以前立ち上げた発明クラブの経験を活かし、地元の幸田町少年少女発明クラブ発足に力添えを頂けないかと依頼を受け、発明クラブ発足に参加した次第です。発足時、前幸田町長大須賀一誠さんに10年間はお願ひしますと頼まれたことが昨日のように思われます。

講師の方もデンソー幸田製作所やソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイトなど、幸田町の優良企業からも優秀な技術者にご協力を得ることができ感謝致します。また、発足時には桑門聰さん・石丸典生元会長・刈谷少年少女発明クラブを始め近



隣の発明クラブの皆さんに、講義内容やただものづくりするだけで終わらせず子どもたちの工夫・付加価値をどのように指導するかなどご教授いただきありがとうございました。

ここに感謝の意を表したいと思います。

ありがとうございました。

専任指導員 前沢 直樹



幸田町少年少女発明クラブはこれまでの10年、定例の講座はもちろん、チャレンジ創造コンテストや創意くふう展にも挑戦し、賞を受賞できるまでになりました。これは皆さんのものづくりに対する興味やチャレンジ精神により支えられてきたもので、ものづくりのまち幸田には、なくてはならない存在になったと思います。

講座では、ただ工作するだけでなく、工作の基礎、きちんと精密に作業すること、作品をきれいに仕上げること、自分で考えてやってみること、ちょっと難しい講義も含め、普段できない体験を盛り込んだカリキュラムを目指しています。



それは、今はまだちょっと難しいけど、将来、発明クラブでやったやつだ、と思い出すことがくるでしょう。その時、将来へのさらなる挑戦へのきっかけになればと思います。

皆さんはこれからも、すごい！ 不思議だ！ どのような仕組みなんだろう、などいろんなことに興味を持ち、モノを見続けてください。

卒業クラブ員からのメッセージ

Message

大学生
前沢 悠太さん



この度は幸田町少年少女発明クラブ設立10周年、誠にありがとうございます。

初めて開催された幸田の発明クラブにドキドキしながら参加したあの日からもう10年もの月日が過ぎたことにとっても驚いています。当時、指導してくださった先生方、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

発明クラブでは基本的な工具の使い方から木工、電子工作、プログラミングなどたくさんの経験をさせていただきました。私は今大学生になりましたが、進路を決めていくにあたっては発明クラブでの経験がとても役に立っています。より多くの分野のことを知ることで、より自分になりたいもの、やりたいことが明確になっているからです。

私は大学で電気系の学科に進学しつつ、趣味の一環としてサーバやネットワーク、仮想化などで遊んでいます。何か「作りたい」「実験したい」という欲を持っている皆さんはぜひ「チャレンジ」してみてください。それは必ずあなたの貴重な経験となります。

最後になりますが、幸田町少年少女発明クラブのさらなる活躍を祈願しております。10周年誠にありがとうございます。

高校生
大須賀 舞桜さん



私はものづくりが大好きだったので、学校で配布されたチラシを見て、小学校4年生から3年間この発明クラブに入っていました。

月1回の毎回異なるプログラミングや、工作を始めとした様々な講座があったので、それを楽しみにしていたように思います。そして、たくさんの知らない小学生や講師の方々と「ものづくりを楽しむ」ということができるのが、私にとっての一番の魅力でした。

中でも一番印象に残っているのは、ラジオ製作です。難しい工程もたくさんありましたが、完成して音が流れたときの興奮は忘れられません。また、発明の企画展示を遠足で見に行った時、自分の知らない世界を広げることができ、とても良い経験になりました。

発明クラブで学んだ経験は、部活や勉強などで上手いかなかった時に、「こんなふうにとやったらできるようになれるかもしれない」といった、問題を解決する力となって役に立っています。

私の将来の夢は、食品会社で商品開発をすることですが、発明クラブで学んだことを生かしていきたいと思っています。

現役クラブ員からのメッセージ

Message

幸田小学校 6年生
永井 智貴さん



幸田町少年少女発明クラブさん10周年おめでとうございます。僕は4年生から発明クラブに入り様々な物を作りました。何もかもが初めてでドキドキしましたが特にはんだづけをしたラジオを作った時はとても緊張しました。それが完成して音が聞こえた時はとても嬉しく感動しました。コロナ渦になり学校でもいろんな事を制限される中、発明クラブでみんなのものづくりする事や、指導してもらえる事はとても貴重な経験になっています。これからも僕みたいに、ものづくりでワクワクドキドキする子が増えるといいなと思います。

深溝小学校 6年生
蜂谷 百花さん



私は工作が好きで4年生の時に発明クラブに入会しました。クラブで一番好きな活動はパズル作りです。1mmずつ注意して紙を切るのがとても楽しく、ぴったり出来上がった時はとても達成感があります。また、なかなか学校の授業で経験することができない電子工作は、慣れないはんだなど難しく上手いかないこともあります。その度にたくさんの課題が現れ、「次はどうやって作ろうかな」と考えさせられます。発明クラブではたくさんの不思議を発見することができ、学校の授業や毎日の生活を楽しく過ごすことができ、多くのことを学ぶことができました。

卒業生アンケート

幸田町少年少女発明クラブの発足から10年の節目に当たり、高校生以上の卒業生を対象にアンケートを行いました。アンケートにご協力いただいた皆様、たくさんの熱い声を届けてくださりありがとうございました。アンケート結果を紹介します。

Q

1

発明クラブでの思い出を教えてください。(複数回答可、一部抜粋)

- 全国少年少女チャレンジ創造コンテストに参加したこと
- レゴロボットをプログラミングで動かしたこと
- あいち少年少女創意くふう展を見学したこと
- はんだ付けの作業
- ラジオ製作
- つまようじを組み合わせておもりをつけても折れないような丈夫な橋を使ったこと
- とても人気があり抽選に当たって参加できることが決まった時はとても嬉しかった
- 普段やれないような経験ができたり、大学に行けたりしたこと
- 作り方を丁寧に教えてもらって、自分の手で作り上げた達成感がとても嬉しかった

A

Q

2

発明クラブではどんなことを学びましたか?

また学んだことはどんな時に役立ちましたか?(複数回答可、一部抜粋)

- たくさん失敗してもそこから考えて行動すること。自分の意見と他人の意見を大切にすること。
- 何か(誰か)にすぐ頼るのではなく、自分でやろうとする機会が増えた。
- 考えて何かを作ったりアイデアを形にしたりすることの難しさ。協力をして作品を作ることの大変さと達成感。
- 仲間と協力して1つの作品を仕上げること。大変さ、楽しさ、達成感を学んだ。
- 様々なジャンルの知識やチームで動く時の連携力。大学でのプレゼンやチームの役割分担・動き方に役に立った。
- 物をどのような工夫をして作るかを考えることが、発明クラブに入る前よりもできるようになった。また、考えて作る楽しさも知ることができた。
- 道具の使い方が高校の演劇部の舞台セット作りに役立った。
- はんだごてを使ったことで学校の授業でスムーズに使えた。
- 実際に物を作ることを通じて興味、夢が明確になった。当時は分からなかった作った物の原理も、中学・高校の学習を通して理解できたことが多く、今も発明クラブでの経験が新たな興味につながっている。

A

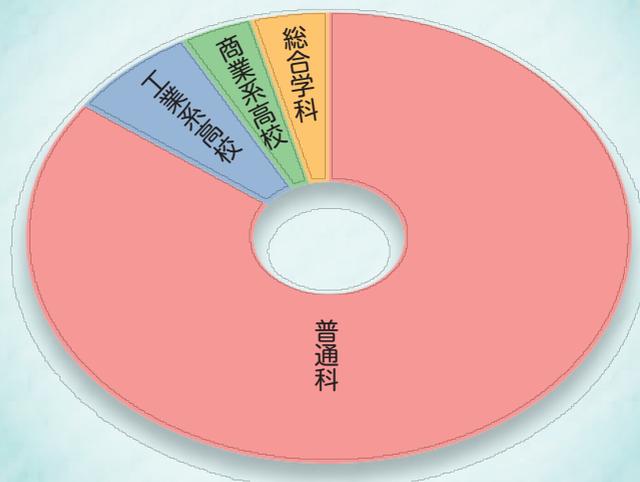
Q

3

進学した高校とその学科や分野について教えてください。

- 普通科 85%
- 工業系高校 7%
- 商業系高校 4%
- 総合学科 4%

A





4 進学した高等専門学校・大学・大学院・専門学校等、または、これから進みたい進路について、その専攻分野と合わせて教えてください。(複数回答可)



- 工学部 ●工業系大学
- 工業高等専門学校
- 自動車会社 ●芸術系
- フードマネジメント学科
- 心理学科 ●教育大学
- 海外大学(医学部or情報科学)
- 外国語大学 英米学科 ●情報系
- エンターテインメント系専門学校
- 大学院 ●建設系 ●環境系
- 看護系 ●医療系専門学校
- 薬学部 ●農学部
- 応用生物科学部
- 宇宙科学系
- 経営学部
- 未定



5 将来どんな分野の仕事に就きたいですか？または、現在どんな分野の仕事に就いていますか？(複数回答可)



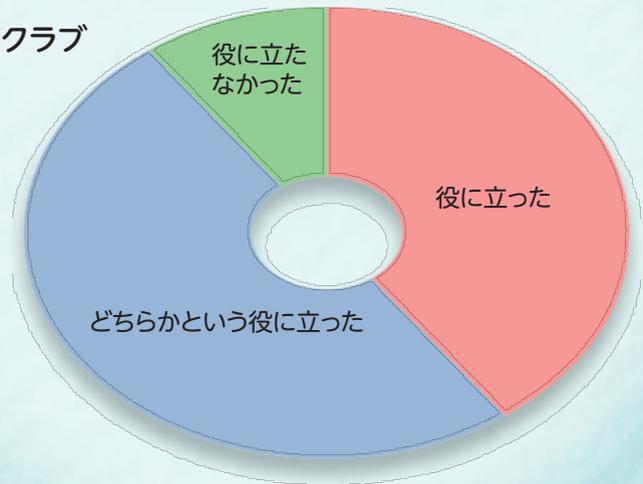
- エンジニア ●自動車関係 ●精密機器メーカー
- 企業での製品開発 ●食品会社での商品開発
- 美術・芸術系 ●演劇関係 ●教師・教員
- 心理学系 ●医療関係者 ●看護系
- 作業療法士
- 薬剤師 ●化学分野 ●事務職
- IT関連 ●ゲームプログラマー
- 設計関係 ●都市建設系 ●エネルギー系
- 環境開発 ●環境保全系 ●宇宙工学系
- 未定



6 進路や職業を選択するときに、発明クラブの活動は役に立ちましたか？

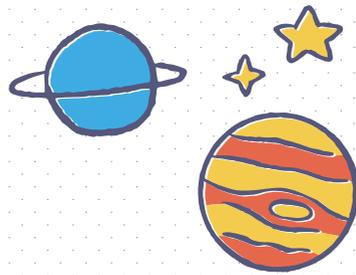


- 役に立った 40%
- どちらかという役に立った 50%
- 役に立たなかった 10%



その他、ご意見ご要望等(一部抜粋)

- 将来、子どもができれば入会させたい。
- 小学生の夏休みをチャレコンに費やせたことは大切な思い出であり、貴重な体験でした。たくさん失敗しましたが、当時好きなことに夢中になれて心から良かったと思えました。今でも何かに夢中になれる毎日幸せです。
- 色々な知識や経験を得ることができたので、今後も発明クラブを多くの方に体験していただき、発想力豊かな子どもたちが増えることを願っております。
- 普段生活している中で役に立っているなあとは感じています。例えば、物が壊れた時や動かない時になぜ動かないのだろう？と考え、そういうトラブルが起きた時にすぐ諦めたり誰かに頼ったりするのではなく、自分でまずは挑戦してみようとなるところ。
- 学校では経験できないことをたくさん経験させていただきました。色々なことを教えていただきありがとうございました。



組織 幸田町少年少女発明クラブ

会長 神取 勇

企画運営委員会

委員長 神取 勇 (幸田町商工会長)

副委員長 成瀬千恵子(幸田町企画部長)

委員 尾崎 勝 (専任指導員)

委員 前沢直樹 (専任指導員)

監 事 北岡 創 (一般社団法人 愛知県発明協会 事務局長)

専任指導員 尾崎 勝 前沢直樹

指導員	今井幹人	那須連作	杉山範男	村上 新
	宇野新太郎	都築勇太	久永記央	山田裕久
	井澤 暁	山田恵美子	早川順二	柵木充彦
	榎本 宏	田代 徹	田川和義	加藤 亨
	丸山純矢	長谷寿行		



幸田町少年少女発明クラブ10周年記念誌

発行 令和4年11月

発行所 幸田町少年少女発明クラブ
幸田町役場 企画部 企業立地課 創業支援グループ
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL.0564-63-5137 FAX.0564-63-5139

印刷 共和印刷株式会社
愛知県豊橋市小池町36-1